

愛知医科大学アーカイブズ

2010年7月1日、「愛知医科大学大学文書室規程」の一部改正が施行され、愛知医科大学大学文書室は愛知医科大学アーカイブズ（以下、本学アーカイブズ）に改称されました。英文名称については、従来から Aichi Medical University Archives (AMUA) としていたため今回は変更されることはなく、むしろ英文名称に見合った和文名称に改められたともいえます。



本連載 No.6 で触れたように、現在国内には約 100 機関が加入する全国大学史資料協議会（東日本部会 66 機関、西日本部会 33 機関）があり、本学も 2009 年度に機関会員として入会しています。今回の改称によって、本学は、同協議会の中で学校法人学習院の「アーカイブズ準備室」となると、「アーカイブズ」という和文名称をもつ組織となりました（2010年7月現在）。



今回のアーカイブズへの改称については、近年、「アーカイブズ」という用語が普及しはじめ、また昨年の夏には公文書管理法（公文書等の管理に関する法律）が制定されるなど、いわゆる「アーカイブズの時代」が到来しつつあると考えられる今日において、旧大学文書室の使命をこれまで以上に明確に学内外へ示す必要があると判断されたためでした。現

在、本学アーカイブズでは、『愛知医科大学三十年史』編さん資料群の整理およびデータベース化のためのデータ入力作業を行っています。その一方で本学アーカイブズは、現在も日々作成されている法人文書や学内刊行物等の中で歴史資料としての価値を有するものについて、それらを散逸させることなく将来の記録史料として残すための仕組みづくりにも取り組んでいます。昨年8月から新たに導入した学内刊行物納入制度（No.7 参照）もその一方策であり、今後本格的に検討が行われる予定である法人文書の保存ルール策定についてもアーカイブズとしての観点から積極的な支援を行うことになると考えています。

